

Q

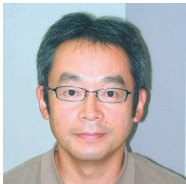
10月より水痘ワクチンを無料で受ける事が出来るようですが詳しく教えてください。

A

水痘(水ぼうそう)は、誰もが一度はかかる病気で、一度かかると免疫ができて二度かかる事はない病気とされている方が多いと思います。感染力は強く、兄弟で誰かがかかると他の兄弟も潜伏期間を経てほとんど正確に2週間後に発症します。保育園や幼稚園で一人発病すると他の子どもたちに次々にうつっていきます。症状は、初め虫に刺されたような赤い発疹ができ次第に全身に広がり、水疱(水ぶくれ)になります。次第に乾燥していき一週間ほどで黒い痂皮(かさぶた)になり治ります。ただし、すべてが痂皮になるまで他の人にうつしてしまうので保育園も休まなければなりません。確かに一度かかれば免疫がつかます。

VPDという言葉があります。VPDのVはvaccine=ワクチン、Pはpreventable=防げる、Dはdiseases=病気、つまりワクチンで防げる病気という事です。水痘もVPDです。今話題になっているデング熱やエボラ出血熱、さらにマラリヤ等はワクチンがないので多くの方がかかり、亡くなっています。せっかく病気を防ぐワクチンがあるのですから、接種しないのはもったいないと思います。かかって保育園を1週間休まなくて済みます。

10月からの水痘ワクチン接種。対象は1歳から3歳未満。1回の接種では免疫の付きが不十分なので2回目の接種を標準的には6から12カ月あけて行います。つまり2回接種します。任意に既に接種を受けている方は、その回数が接種回数に含まれます。既に水痘にかかった方は対象外です。さらに来年3月末までは、経過措置として3歳から5歳未満の方も1回に限り接種を受ける事が出来ます。



お答え
むかわクリニック
院長 務川 靖 先生



雑記

VPDには定期接種で予防する病気のほかに、B型肝炎、おたふくかぜ、ロタウイルス感染症、インフルエンザ等があります。